

# 柏木教会月報

1月号

東京都新宿区北新宿 3-1-18

☎03-3368-2156

牧師 大浦 勝

## 実現される救いの計画

エフェソの信徒への手紙三章一～三節

牧師 大浦 勝

すべてのものをお造りになった神の内に世の初めから隠されていた秘められた計画が、どのように実現されるのかを、すべての人々に説き明かしています。（九節）

クリスマスの出来事は、神は御子においてこの世界に一人の人間として来てくださるほどに、深くこの世界とかかわってくださることを告げている。すべてのものを創造された神は、ご自分が世の初めから定めておられた計画に従って、この世界において救いのみわざを起こなつておられる。この世界にはさまざまな力が働いており、その中でわたしたちは心を悩まし、恐れ、不安を覚えている。しかし、この世界は何よりも、神が救いの計画を実現に至らせておられる世界であり、神のみわざが行われている世界であることを信じて歩んで行きたい。クリスマスの出来事の中にわたしたちはそのことについての確かな保証を与えられている。

神はこの「秘められた計画」（九節）をキリストにおいて啓示され、実現され、完成に至らせようとしておられる。キリストは「永遠なる神の経緯に従ひ」（「日本キリスト教会信仰の告白」）、人間となり、救いのみわざを行われた。その最終の目標は、天にあるものも地にあるも

のも、あらゆるもののが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられるということである（一・一〇）。キリストは人と人、民族と民族、国家と国家の間に「敵意」という隔ての壁」を十字架によって取り壊し、二つのものを一つにして、神のみ前に立たせてくださる（二・一四～一六）。キリストの十字架によって、すべてのものを神と和解させるみわざ、すべてのものを一つにするみわざは行われた。神は今これを完成に導くみわざをおなつておられる。

教会は完成される神のみわざを指し示すしとしてこの世界に立てられている。それはあらゆるものがあつにまとめられることのしであるから、「国の異同、人種の差別、階級の差異」を越えている（「日本キリスト教会憲法」前文）。わたしたちは互いの間にある壁を越え、人種や民族や国家による結びつきを越えた、キリストにあるさらに緊密な交わりを目指すべきである。わたしたちは、すべてのものが、約束されたものを一緒に受け継ぐ者、同じ体に属する者、同じ約束にあずかる者となること（六節）のしるしである。

パウロは自分が恵みを受けて、ご自分の計画を完成に導いておられる神のみわざに仕える者とされていることを、繰り返し述べている（一、七、八節）。宣教のわざは、キリストにおいて実現され、今完成に向かって進んでいる神の永遠の計画に仕えるわざであり、これを告げ知らせていくことである。神がこの年もその力を働かせてわたしたちに恵みを賜い、わたしたちをこのわざに仕えさせてくださるように（八節）。